

## 授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : 学生として押さえておこう「性暴力」の基礎知識  
授業特別協力者名 : 中島 幸子 氏 (NPO 法人レジリエンス代表)  
実施日時 : 2019 年 6 月 10 日 (月) 3 時限  
担当教員名 : 近藤 和美  
授業科目名 : 社会学  
実施場所 : 8104 教室  
履修者数 : およそ 120 名

### 実施結果

NPO 法人レジリエンス代表 中島幸子さんに、「大学生として押さえておこう『性暴力』の基礎知識」というタイトルでご講演頂いた。ダイバーシティ推進委員会の後援により全学の学生に開放され、他学部の教員・学生も多数参加した。商学部のみならず学部以外の職員の協力も得て、講演の冒頭には、ダイバーシティ推進担当課長、そしてハラスメント防止啓発支援室長から大学の取組や関連イベントアナウンスを行った。


講演では、性暴力が他人事ではないこと、トラウマにあった場合の「解離」の症状などについて、わかりやすく心に訴えかける語り口で伝えられた。男女を問わず、学生も心を揺すぶられた様子で聞き入っていた。

キャンパスにおける性暴力の撲滅に向けて、教職員が連携していくことの必要性を改めて認識させられる有益な講演だった。

商学部公開授業【全学生対象】 後援：ダイバーシティ推進委員会

テーマ：学生として押さえておこう「性暴力」の基礎知識  
講演者：中島 幸子 (なかじま さちこ) 氏 (NPO 法人レジリエンス代表)  
日時：6月10日 (月) 3時限目 13:20~15:00  
場所：8号館 8104教室  
科目名：社会学 (近藤 和美 先生)

大学生として、そして社会に出る前に知っておくべき基本的な知識の講義です。何が暴力に相当するのか、日本ではどのくらい発生しているのか、性暴力に遭わないために出来ることはあるか、性暴力に遭ってしまったらどうしたらよいか、性暴力の被害者にとってその影響はどのようなものか、など。中大生であれば誰でも参加可能です。

 **講演者 中島 幸子氏 プロフィール**  
暴力被害にあった経験をきっかけに、トラウマの影響、被害者支援等について学び、米国の大学院にて法学博士号、ソーシャルワーク(社会福祉学)修士号を取得。  
2003年、日本で「レジリエンス」を結成、暴力の影響を理解しトラウマに対応する方法を学ぶための「こころのcare講座」をスタート。当事者としての視点と支援者としての経験を踏まえ、毎年、DVや性暴力被害、トラウマの影響、解離、被害者支援に求められることなどをテーマに、全国各地で多数の講演を行う。主な著書に、「性暴力 その後を生きる」、「マイ・レジリエンス トラウマとともに生きる」、共編に「傷ついたあなたへ1>、<2>」など。